北上市出資法人等協働評価シート（基本情報確認用）

【社団法人・財団法人用】

■1. 法人の概要

法人名称	公益財団法人北上市体育協会	担当部課名	まちづくり部スポーツ推進課
代表者名	会長　及川　清人	設立年月日	平成7年4月4日
所在地	北上市相去町高前檀27-36	電話番号	0197-67-6720
設立目的	北上市におけるスポーツを振興することにより、市民の健康増進、体力の向上を図り、健康で活力にあふれる街づくりに寄与すること。		
事業内容	(1)健康増進と体力の向上を図るスポーツ振興に関する事業 (2)スポーツに関する意識と体力の向上を図る事業 (3)北上市から指定管理者の指定を受けた施設の管理運営事業 (4)その他この法人の目的を達成するために必要な事業		

■2. 設立の経緯と市の関与

設立の経緯と市の関与（設立時からこれまでの経緯）	平成3年4月の三市町村合併に伴い、当該体育協会も同年6月に三団体の合併を行った。その後、市民のスポーツ活動の多様なニーズに応えるため、財政基盤の確立、組織体制を強化し、市のスポーツ振興事業や体育施設の管理受託を目指して、平成7年4月に北上市から81,226千円の出捐金を受け財団法人北上市体育協会が設立された。 平成13年度から市からの総合運動公園体育施設の管理及び事業企画運営の委託を受託し、平成18年度から指定管理者として、平成22年度まで総合運動公園内体育施設ほか11施設を受託した。平成23年度からは、総合運動公園体育施設ほか5施設を受託し、平成25年度に新たに3施設を受託した。 平成25年9月2日財団法人を解散し、公益財団法人に移行した。

■3. 資本金等の状況

H29.3.31現在

資本金	102,210　千円	市出資額	81,226 千円	市出資等割合	79.5　%

その他の主な出資者	出資者の名称	出資等金額	出資等割合
①		千円	%
②		千円	%
③		千円	%

■4. 役職員の状況

H29.3.31現在

	常勤役員	うち市OB	うち市派遣	非常勤役員	うち市OB	うち市派遣	合計
役員数	1	1	0	14	3	1	15 人
	常勤職員	うち市OB	うち市派遣	非常勤・臨時職員	うち市OB	うち市派遣	合計
職員数	11	1	0	7	2	0	18 人

役員の平均年齢	64.5　才	常勤職員の平均年齢	40.7　才

■5. 情報公開の状況

情報公開規定の有無	☑ 有り　☐ 無し	ホームページの有無	☑ 有り　☐ 無し
情報開示の方法	事務所に備え付け		
ホームページアドレス	http://kitakami-taikyou.com		

ホームページでの経営状況等情報提供内容				
☑ 定款	☑ 役員名簿	☑ 事業報告	☑ 財務諸表	

■6. 財務状況

単位：千円

【損益計算書】	H26年度	H27年度	H28年度	備考
経常収益	190,397	196,906	194,496	
うち基本財産運用益	210	661	52	
うち事業収益	165,690	171,114	170,491	
経常費用	191,857	200,836	203,861	
うち事業費	176,076	184,597	187,281	
うち管理費	15,781	16,239	16,580	
うち人件費	60,473	62,329	69,067	
当期経常増減額	△ 1,460	△ 3,930	△ 9,365	
経常外収益	0	500	4,149	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	500	4,149	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,460	△ 3,430	△ 5,216	
法人税等	437	738	648	
当期一般正味財産増減額	△ 1,897	△ 4,168	△ 5,864	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
正味財産期末残高	127,076	122,908	117,044	
【貸借対照表】	**H26年度**	**H27年度**	**H28年度**	**備考**
資産合計	135,367	133,287	127,643	
負債合計	8,291	10,379	10,598	
正味財産合計	127,076	122,908	117,044	
うち指定正味財産	60,000	60,000	60,000	

【財務指標】	H26年度	H27年度	H28年度
自己資本比率 （資本÷総資産）×100	93.9%	92.2%	91.6%
流動比率 （流動資産÷流動負債）×100	872.1%	683.7%	620.9%
借入金依存度 （長・短期借入金÷総資産）×100	0%	0%	0%
管理費比率 （管理費÷経常費用）×100	8.2%	8.1%	8.1%
人件費比率 （人件費÷経常費用）×100	31.5%	31.0%	33.8%
総資産経常利益率 （経常利益÷総資産）×100	△1.1%	△2.9%	△7.3%

■7. 市の財政的関与の状況

単位：千円

項　目	H26年度	H27年度	H28年度	備考
補助金・交付金	8,400	7,177	8,400	○委託料：指定管理料 ○その他：高齢者セミナー講師謝金(H26,27)、国体施設使用料免除に係る収入補填(H28)
委託料	158,455	162,130	162,602	
出資金（追加額）	0	0	0	
その他（使用料等）	47	47	4,149	
合計	166,902	169,354	175,151	
損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
貸付金残高	0	0	0	
指定管理施設の名称	北上総合運動公園（競技場、運動場、体育館）、江釣子体育館、江釣子勤労者体育センター、江釣子野球場、和賀川グリーンパーク（テニスコート、多目的広場）、江釣子運動場、日平ふれあい広場、やまつみふれあい広場、野中ふれあい広場			

■8. 職員研修の実施状況

研修の種類及び名称	当該年度の受講者数		
	H26年度	H27年度	H28年度
公益法人会計セミナー	4	2	3
体育施設管理士養成講習会		1	1
指定管理者業務品質向上セミナー			1
SAQレベル1セミナー			2
介護予防指導士講習会・介護予防運動スペシャリスト養成講習会	2	2	2
スポーツ指導者講習会			1
健康運動指導士更新必修講座			1
運動保育士「運動遊び実践・子育て脳機能コース」			1
2016スポーツ＆フィットネス指導者セミナー			2
防火管理者講習会	2	3	4

■9. 設立目的に沿った事業の実施に有効な資格の取得状況

資格の種類及び名称	当該年度末の有資格者数		
	H26年度	H27年度	H28年度
ノルディックウォーキングインストラクター	2	2	0
健康運動指導士	1	1	2
健康運動実践指導者	2	2	2
スポーツプログラマー	1	1	1
SAQレベル1インストラクター	2	2	2
体育施設管理士	1	2	3
防火管理者	5	5	6

■10. 主要事業の実績概要（平成28年度）

事業名称	活動実績・成果
スポーツ大会開催事業	市民体育大会の参加者は、前年度に比較し81人増加した。市民ロードレース大会は、岩手国体の開催に伴い、開催時期を変更して実施したが、514人の参加があった。小学生雪合戦大会・市民スキー大会距離の部は、2年ぶりに開催した。その他の大会においても前年度並みの参加者があった。
スポーツ教室開催事業	幼稚園児・小学生を対象としたジュニアスポーツ教室、一般からシニアを対象としたスポーツ教室等を387回開催し、延べ7,668人の参加があった。
選手強化事業	指導者講習会4回、スポーツ講演会・医科学セミナー2回、選手強化教室等延べ291回開催し、3,519人の参加があった。
県民体育大会選手派遣事業	陸上競技ほか25競技種目に504人の選手を派遣した結果、団体の部では、バレーボール競技をはじめ男子の部・女子の部・総合の部をあわせて22種目の優勝、個人の部では、4種目33人が優勝した。
表彰事業	功労賞３名、栄光賞７団体、個人52名、優秀賞１団体を表彰した。
スポーツ少年団育成事業	団体数115団、団員数2,760人、指導者数477人の登録があり、指導者講習会、キッズスポーツ大好き教室、スポーツ交流会等を開催し、301人の参加があった。体力テストにおいては、57団体850人の参加があり、参加者全員に体力テストの判定結果を通知した。また、第42回日独スポーツ少年団同時交流ドイツ団受け入れ事業があり、「体操ユーゲント」から団長ほか８名の団員を迎え、市内中・高校生と交流し、友好と親睦を深めた。

介護予防事業	「いつまでも元気教室」、「若返りにレッツ・トライ」、「いまから始める脳活講座」を開催し、延べ1,648人の参加があった。
体育施設管理運営事業	第71回国民体育大会及び第16回全国障害者スポーツ大会の開閉会式及び陸上競技、バドミントン競技、新体操競技、ソフトテニス競技などの会場となり、過去最高の747,492人の利用者数となった。また、国体開催を迎えるにあたり、施設・設備の定期点検や修繕、芝生の管理、グラウンド整備及び清掃等を適切に行い、安全管理に努めた。

■11. 市の施策との関係（これまでの活用効果及び今後の市の方針）

市の施策	心身ともに健康で豊かな生活を送るため、誰もがその年代・体力に応じて、楽しみながら体力の向上や健康維持ができるよう、気軽に親しめるスポーツの振興を図る。各種目における競技力向上のため、指導や支援を充実し、競技スポーツの普及を図る。
これまでの活用効果	市民体育大会や各種スポーツ教室等を開催し、市民の健康維持・増進やジュニアの育成等を行いスポーツ振興を図ってきた。指導者講習会やスポーツ講演会を開催し、各加盟競技団体が主催する強化事業を開催し、選手の育成強化を図っている。
現在の課題	スポーツニーズに対応した指導者の養成と研修機会の提供が不足している。 多くの既存体育施設の老朽化しており、改修整備が必要である。
今後の市の方針	心身ともに健康で豊かな生活を送るため、スポーツ活動を推進し、「スポーツによる健康づくり」をすすめる。 トップアスリート輩出に向け、「競技力の向上に向けた選手育成・指導者養成」をすすめる。 スポーツは地域の一体感を高め、まちに活力を与える力をもつことから、いわて国体開催を契機として、今後も「スポーツによるまちづくり」を推進する。また、関係団体等と連携しスポーツツーリズムの推進による地域活性化を図る。 指定管理者との協働による良好な施設環境づくりと改修に伴う財源を確保し、計画的整備を図る。